

5

「歴史災害痕跡データベース」の構築・公開事業

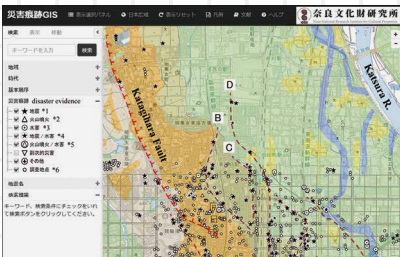
#防災・減災

#災害痕跡

#データベース

奈文研では、発掘現場から発見される過去の地震・火山災害に関する情報の収集と、そのデータベースの構築・公開を通して、大規模自然災害に対する防災・減災活動に取り組んでいます。

全国46万5千カ所を超える遺跡の発掘現場やその調査報告書から情報を収集し、整理するには、多くの人手と時間、費用がかかります。しかし、それぞれの土地の災害履歴や被災メカニズムの解明は、私たちの将来の生活を守る、防災や減災への重要な基盤となっています。



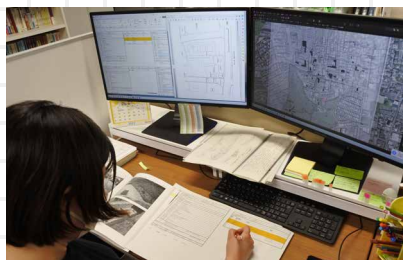
『歴史災害痕跡データベース』の表示例



X線CTによる火山性地震痕跡の解析



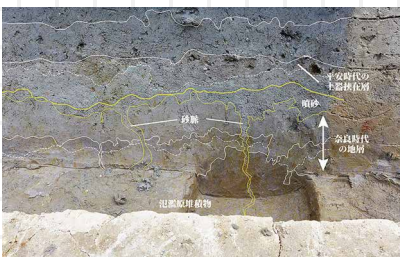
調査で発見された液状化による地割れの痕跡



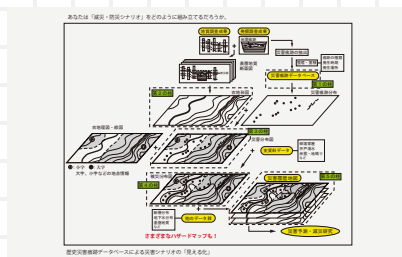
データベースの構築作業
(災害痕跡情報を発掘調査報告書から読み取る)



液状化にともなう砂脈と噴砂の調査風景



法華寺阿弥陀浄土院北東の調査で見つかった巨大地震の痕跡



『歴史災害痕跡データベース』のメカニズムと災害シナリオの「見える化」



発掘現場での地震痕跡調査
(地質切取試料の採取)